

## 第21回「みどりの文化賞」受賞理由等

### 伝統の技が生み出す 木の文化

- 田中文男氏は、日本の木造建築の実践と研究を重ね、我が国の木造建築を代表する重要文化財の修復及び復元をはじめ、木造住宅や一般建築の設計施工など、棟梁、宮大工として幅広く活躍してきた。  
特に、重要文化財である泉福寺薬師堂などの社寺や古民家の修復、解体調査等において文化財の保存に貢献するとともに、木造民家の修復研究、伝統的な木造建築の技術の維持・保存など、我が国の伝統的な木の文化の技術の承継に大きな功績を残した。
- 同氏は、「学者棟梁」と呼ばれ、寺社や古民家の修復、解体調査等をとおして木材のもつ欠点と特徴をよく熟知し、その特性を生かした「ホンモノ」のものづくりを志し、先人の知恵である伝統的な木造建築の基礎となる「継手・仕口」技術の再構築など、職人として、棟梁として建築界に多大な影響を与えてきた。
- また、国内外のマイスター型人材育成の要職を歴任するほか、技能スペシャリストを養成する「ものづくり大学」の特任教授として人材の育成など、その知識と経験を生かし教育の分野でも力を注ぐとともに、長年にわたり古民家などの調査を通じて地域の木の文化の研究に取り組み、修復保存に関わる報告書、論文、講演も数多く、木の文化や木材利用に係わる多くの著書を出版するなど、幅広い活動をしてきた。

こうした、長年の知識・経験を通じた我が国の伝統的な木造建築の技術の継承に大きな役割を果たした功績は高く評価できるものである。

## 田中文男氏の経歴等

### 1. 経歴等

- 昭和 7 年 1 月 1 0 日 茨城県に生まれる
- 昭和 2 1 年 宮大工の師弟となる
- 昭和 3 3 年 早稲田大学工業高等学校建築科卒業
- 昭和 3 7 年 (株) 眞木建設設立
- 平成 4 年 (有) 眞木設立

### 2. 受賞歴

- 平成 5 年 日本建築学会業績賞  
(「普請研究」刊行を通じた「普請帳研究会」10年間の活動)
- 平成 7 年 第 3 6 回林政記者クラブ賞(グリーン賞)  
(木工技術の向上と国産材振興)
- 平成 8 年 第 5 回建築フォーラム賞  
(木造建築文化の継承発展に関する活動)

### 3. 主な重要文化財・民家等の修復・復原

- 国指定重要文化財 旧堀田邸の保存整備工事(千葉県佐倉市)
  - 国指定重要文化財 泉福寺薬師堂の解体修理(千葉県印西市)
  - 国指定重要文化財 花野井家住宅解体移築修理(千葉県野田市)
  - 国営吉野ヶ里歴史公園 北内郭の復元整備(佐賀県神埼町他)
  - 国史跡 平沢官衙遺跡建築建物の復元工事(茨城県つくば市)
  - 須賀神社雷門の造営(栃木県小山市)
  - 大本山向富嶽寺方丈・書院・隠寮の設計(山梨県塩山市)
- など多数、また、これらの修理・復原の報告書等を刊行。

### 4. 主な著書

- 「住宅建築」
- 「関東の住まい」日本列島民家の旅
- 「図説・木造建築辞典」基礎編、実例編
- 「現代棟梁田中文男」
- 「継手・仕口 日本建築の隠された知恵」

### 5. その他

- 平成 1 9 年 妻有田中文男文庫(新潟県十日町市上新田)を開館
- 長年にわたる研究・調査に関係した書籍を収蔵(約 2 千冊)